

当院は「タスカル導入後の脳卒中スクランブル体制の現状と課題」の研究を行っています



この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2022年5月から2023年3月までを予定しています。

【研究の意義・目的】

当院では脳梗塞を疑った患者に対して、検査を早急に行い、最短で治療開始が出来るよう脳卒中スクランブル体制（採血、点滴、画像検査、薬剤投与、血管内治療を速やかに行う体制）を導入しています。

「タスカルシステム」とは、脳卒中の急性期医療をスピーディーに行うためのシステムです。脳卒中の急性期では各部署にて処理を行います。連携に時間がかかり全体に要する時間も長くなってしまっているのが現状でした。そこで、このシステムを導入することにより医療現場での情報共有をスムーズに行い、来院から治療までの時間を短縮することでより良い脳卒中治療システムに貢献出来ることが期待されています。

【研究の対象】

小倉記念病院において2021年4月から2022年6月、2022年7月から2023年3月の間に、タスカルシステムを使用した脳卒中スクランブル対応となった患者さんを対象としています。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【研究の方法および情報の取扱い】

対象の事例ごとに画像検査、薬剤治療、血管内治療など行った症例を集計します。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象とするので、患者さんに日常診療以外の負担が生じることはありません。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にやるものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。



小倉記念病院 外来1 担当者 早川 歩乃佳
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）

